

## 2022年度 京都市看護職能力向上・定着確保研修 新人看護職員教育プログラム

	テーマ	内容	担当	開催日時
1	看護職員として必要な基本姿勢と態度について確認してみよう！	新人看護職員研修ガイドラインに基づき、看護倫理（個人情報取り扱いを含む）、医療安全、COVID-19感染予防対策について、事例を用いながら確認します。さらに、組織の一員としての役割や適切な行動に対する自身の強み・弱みを明らかにします。	籠島	4月28日（木） 13：30～16：30
2	ショックのサインを見逃すな！	血圧低下（ショック）を起こしていても、「血圧が下がっているんです」とは自分から言っていられないことがほとんどです。そんな状態を見逃さないために、ショックのメカニズムや観察ポイントについて学習し、アセスメントを経験します。	籠島	5月12日（木） 13：30～16：30
3	“息が・・・”と訴えられたときに	“息苦しい”と患者さんが訴えられているときに、身体の中で何が起きているのか、メカニズムや観察ポイントについて学習し、アセスメントを経験します。酸素療法の種類と特徴、吸引技術の根拠について確認します。	籠島	6月9日（木） 13：30～16：30
4	“胸が・・・”と訴えられたときに	“胸が痛い”“胸がドキドキする”と患者さんが訴えられているときに、生命の危機に結びつく症状なのかどうかを判断するための観察ポイントについて学習し、アセスメントを経験します。12誘導心電図の電極装着部位についてシミュレータで確認します。	田口	7月7日（木） 13：30～16：30
5	倫理的である”ということとは ② ストレスマネジメント	①看護師と看護を必要とする方の立場の違いに気づくという視点から、倫理について考えてみます。②就職してからの「つらかったこと」「うれしかったこと」をグループワークで共有します。また、ストレスマネジメントの方法を知ってもらいます。	門田	8月18日（木） 13：30～16：30
6	“意識が・・・”というときに	意識障害のある患者さんは、緊急度が高いと考えます。身体の中で何が起きているのか、メカニズムや観察ポイントについて学習し、アセスメントを経験します。	門田	9月8日（木） 13：30～16：30
7	“おなかが・・・”と訴えられたときに	“おなかが痛い”と患者さんが訴えられているときに、身体の中で何が起きているのか、メカニズムや観察ポイントについて学習し、アセスメントを経験します。また、安全にグリセリン浣腸を実施するためのポイントも確認します。	籠島	10月6日（木） 13：30～16：30
8	看取りの際のケアのきほん	高齢社会が成熟し多死社会を迎え、病院で亡くなる方は約8割となっています。誰にでもいつかは訪れる死への過程をどのように整えることができるのか・・・。終末期から死亡時にかけて、患者さんとご家族の心身の状況を理解し、必要な看護（エンゼルケア含む）について考えてみます。	門田	11月10日（木） 13：30～16：30
9	ハイリスク薬について 知ろう！	患者さんに良くなっていただくための薬も、正しく使用しないと患者さんへ害を与えかねません。カリウムやインスリンなどのハイリスク薬について“何がどう危険なのか”“何に注意すればよいのか”を学びます。	籠島	12月8日（木） 13：30～16：30
10	人工呼吸器と装着患者さんの看護のきほん	人工呼吸器を使用する際に知っておくべき基礎知識（人工呼吸器の構造、換気様式、アラーム）と人工呼吸器を装着している患者さんの看護の基本について学びます。	籠島	1月12日（木） 13：30～16：30
11	2年目に向けて、働くことを見つめなおしてみよう！ ／修了式	1年間の看護実践を振り返り、仕事について・看護について自分が大切にしていることを言語化してみます。	籠島 門田 田口	2月9日（木） 13：30～16：30

研修講師：京都看護大学 看護の智協働開発センター担当者

➤ 2～10回：グループワークを行い、経験、思い等を共有する時間を持ちます。